

安全報告書の公表にあたって

私たち西鉄グループは企業理念の中で「“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展」することをうたっています。中でも私達は“あんしん”に強くこだわりを持ち、「お客さまの安全」を最優先にして事業に取り組んでいます。

西鉄グループではお客さまの安全の確保を強化し、運輸安全の法制化に対応するために「西鉄グループ安全マネジメント委員会」を2006年に設立し、今年で13年目を迎えています。この間、運輸部門をはじめ、建物や食品など、グループ事業の全般にわたり、安全に関する様々な取り組みに工夫を重ね、安全マネジメント体制の構築やPDCAサイクルの確立によるスパイラルアップを着実に進めて参りました。安全への取り組みに終わりはなく、更なる深化を目指していかなければならないと考えています。

現在西鉄グループでは、長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2025」の実現に向け、その第一ステップとなる実行計画「第14次中期経営計画」に取り組んでおります。最終年度となります本年は、「次のにしてつへのさらなる挑戦」を遂行し、重点戦略に取り組んでまいります。戦略実行の基盤となりますのは「CSR経営の推進」であり、CSR経営の中で最も大切で、西鉄グループの全ての事業の根幹となるものは「お客さまの安全」です。

私は、「最も優先されるのはお客さまの安全である」ことを従業員に語りつづけるとともに、従業員どうしても「安全とは何か」を常日頃議論し、各自が安全最優先を考え行動できるような、企業風土の醸成に努めて参ります。

また鉄道・バス部門では、国土交通省による運輸安全マネジメント評価が2006年度以降行われていますが、その中でいただいたご助言を安全マネジメント体制の継続的改善の糧として、運輸安全マネジメント制度の定着を図っています。

この報告書は法令にもとづき、弊社の鉄道・バス部門の安全確保の取り組みや安全の実態についてまとめたものです。皆様にご覧いただきご理解を賜りますとともに、ご意見を頂戴できれば幸いに存じます。

2018年7月

西日本鉄道株式会社
代表取締役社長執行役員

倉富純男

